

第1章

動詞の表す時（時制）

Points

英語を学び始めた頃は意識しなかったのに、気がつくと、「現在形」「現在進行形」「現在完了形」「現在完了進行形」...といった文法用語が登場していて、「わけがわからない」と思っている人はいませんか？ こういったことを「時制」というのですが、実は、そんなにむずかしい話ではありません。

本章では、時制（動詞が表す時のこと）についてお話しします。

英語の動詞の型は2つ（＝現在形と過去形）です。それぞれの働きをまず考えます（No.12～17）。

次に「近い↔遠い / 内↔外」という考え方を中心にすえ、英語での敬語表現についても考えます（No.18～23）。そして、「遠い」ことの表現のひとつとして、みなさんが一番理解しにくいと思われる「仮定法」に話題を移します（No.24～31）。

「未来」の表現法（No.32～33、No.40～48）、そして、「進行形」（No.34～39）と「完了形」（No.49～58）を本章の最後で考えましょう。